



8月15日、室野城川ダムで行われた「牛の丸焼きフェスティバル」。今年で10回目をむかえたこの催しに約200人が集まり、半身の牛肉250kgを平らげました。また、ほとりを流れる「せせらぎの泉」では、ニジマスのかみ捕りが行われ、子どもたちは水しぶきをあげていました。

主な内容

- バランスシートで財政体質をみる…②～③
- 市町村合併・十日町圏域を知ろう…④～⑤
- 自然エネルギー／森林整備支援制度…⑥～⑦
- 里創プラン通信／スポーツ…⑧～⑨
- 東京発／松代の自然／八王子から…⑩～⑪
- 夏休みの思い出…⑫～⑬
- 文芸・お知らせ・町の行事予定…⑭～⑮

■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1
TEL 02559-7-2220
FAX 02559-7-2526・7-2300
URL <http://www.echigo-matsudai.com/>

町の家計簿

バランスシートで財政体質をみる

平成13年度のバランスシート

(単位：千円)

借 方	貸 方
[資産の部]	[負債の部]
1. 有形固定資産	1. 固定負債
(1)総務費 1,820,940	(1)地方債 3,358,024
(2)民生費 687,384	(2)債務負担行為
(3)衛生費 31,764	①物件の購入等 0
(4)労働費 0	②債務保証又は損失補償 0
(5)農林水産業費 2,972,162	債務負担行為計 0
(6)商工費 408,423	(3)退職給与引当金 967,186
(7)土木費 2,060,623	固定負債合計 4,325,210
(8)消防費 48,852	
(9)教育費 2,990,138	
(10)その他 3,156	
計 11,023,442	
(うち土地 671,875)	
有形固定資産合計 11,023,442	
2. 投資等	2. 流動負債
(1)投資及び出資金 92,273	(1)翌年度償還予定額 504,628
(2)貸付金 14,005	(2)翌年度繰上充用金 0
(3)基金	流動負債合計 504,628
①特定目的基金 1,077,273	
②土地開発基金 120,804	
③定額運用基金 15,000	
基金計 1,213,077	
④退職手当組合積立金 130,278	
投資等合計 1,449,633	
3. 流動資産	
(1)現金・預金	[正味資産の部]
①財政調整基金 374,733	1. 国庫支出金 1,174,723
②減債基金 279,943	2. 都道府県支出金 2,513,696
③歳計現金 194,012	3. 一般財源等 5,070,975
現金・預金計 848,688	
(2)未収金	正味資産合計 8,759,394
①地方税 1,393	負債・正味資産合計 13,589,232
②その他 266,076	
未収金計 267,469	
流動資産合計 1,116,157	
資 産 合 計 13,589,232	

バランスシート（貸借対照表）は、町の財政体質を知るうえで大切な資料です。
現在、町にある土地や建物、基金や権利などの資産を工面するために、その財源となる資金の調達と運用の状態、つまり、資産と負債（主に借入金）・正味資産（自らの資金）の三つの要素を組み合わせた状況表なのです。
町の財政は、主に予算と決算で管理

されていますが、企業の決算に則して、町の資産の運用状況を知るために、2年前から各市町村においてバランスシートを作成しています。
このバランスシートは、これからの町の財政運営や市町村合併などで財政問題を検討するうえで重要になってきます。

※債務負担行為に係る補償等

①物件の購入等に係るもの	345,000千円
②債務保証及び損失補償に係るもの	0千円
③利子補給等に係るもの	0千円

(平成14年3月31日現在)

10年間での資産等の変化

平成3年度から平成13年度の10年間で町の資産と負債がどのように変わっているかをみてみます。

資産総額は104億71千万円から31億18百万円増加し135億89百万円となっています。これは、芝峠や駅周辺及びスキー場等の整備により有形固定資産が10年前の1.4倍、110億23百万円となっていることが大きな要因です。

また、流動資産が1億25百万円増加していますが、平成13年度から平成14年度への事業の繰越に伴う、国庫支出金などの未収金が増えているからです。

負債においては、10年間で1.2倍しか伸びておらず48億3千万円となっています。この要因は、地方債の繰上償還によることと、資産形成の財源を補助率の高い国庫支出金を有意義に利用することで、借入れによる負担を軽減してきたことによるものです。そのことは、正味資産の伸びにも現われており、10年前の1.4倍となっています。ここでも補助金を有効に活用して資産形成していることがうかがえます。

10年前との経年比較

(単位：百万円、倍)

区 分	H 3	H13	伸率
資 産	10,471	13,589	1.3
有形固定資産	8,185	11,023	1.4
投資等	1,295	1,450	1.1
流動資産	991	1,116	1.1
負 債	4,058	4,830	1.2
固定負債	3,717	4,325	1.2
流動負債	341	505	1.5
正味資産	6,413	8,759	1.4
国庫支出金	1,117	1,175	1.1
県支出金	1,267	2,513	2.0
一般財源等	4,029	5,071	1.3
負債・正味資産合計	10,471	13,589	1.3

バランスシートの解説

このバランスシートは、町が一般会計においてこれまでに形成してきた資産や、その財源となった負債と正味資産の内容を表示しています。

平成13年度末現在の町の資産総額は135億89百万円となっており、13年度当初予算額の約4年分に相当

しています。

その資産総額の中でも、町にある土地や建物など有形固定資産の財源のうち、返済を要しない正味資産で工面しているものが、87億59百万円となっており、有形固定資産に対する割合は約80%におよぶことから、将来の世代に対する負担は低くなっているといえます。

借 方	貸 方
<p>【資産の部】</p> <p>1. 有形固定資産</p> <p>土地・建物・機器類などで、町税や国及び県からの支出金または地方債（町の借入金）などを財源として、町が形成した資産を行政目的別に表示しています。</p> <p>建物や機器などは、定額法による減価償却を行った後の額を、また土地については取得価格で計上しています。</p> <p>有形固定資産は110億23百万で総資産の81%を占めています。</p> <p>2. 投資等</p> <p>各種公的団体への出資金や克雪住宅づくり資金など住民への貸付金などと、町が保有する各種の基金の状況を表示しています。</p> <p>投資のうち一番多いのは北越急行で41百万円（44%）、次いで松代総合開発が3千万円（32%）となっています。</p> <p>基金の合計は財政調整基金と減債基金を除いた額です。また、退職手当組合積立金は、県町村職員退職手当組合に係る町の持分相当額の積立額を表示しています。</p> <p>3. 流動資産</p> <p>町が持つ現金・預金、未収金などを種類別に表示しています。また、予期しない支出に備えるための財政調整基金と地方債の償還に備える減債基金はその性格から流動性が高いため、流動資産に分類されています。</p> <p>未収金のうちその他は、翌年度に繰りこした事業のうち未収入となっている国県支出金と地方債であり、13年度は繰越事業が多かったために2億66百万円となっています。</p>	<p>【負債の部】</p> <p>1. 固定負債</p> <p>地方債は13年度末の現在高を示しており、この地方債と流動負債の翌年度償還予定額をあわせた38億63百万円が、地方債の実質残高となります。</p> <p>また、退職給与引当金は13年度末に職員全員が普通退職したと想定した場合における要支給額を表示しており、9億67百万円となっています。</p> <p>2. 流動負債</p> <p>14年度に返済する地方債の元金償還金予定額を翌年度償還予定額として表示しており、5億5百万円となっています。</p> <p>【正味資産の部】</p> <p>国・県支出金及び一般財源等</p> <p>企業会計ではこの部分は本来「資本」に該当する部分ですが、営利活動を目的としないために「正味資産」という表示をしています。</p> <p>ここでは、有形固定資産を形成するための財源となった国や県からの支出金の額を、有形固定資産の減価償却と同じ方法で減額した額を計上しています。県支出金が国庫支出金の2倍以上となっていますが、これは主に農林水産業費の補助金などのように国庫支出金として歳入されるものでも県を経由して交付されるため、県支出金として扱うことから多くなっています。</p> <p>また、企業会計の剰余金に当る部分を一般財源等として表示しており、町税等の自主財源を計上しています。</p>

※債務負担行為に係る補償等

「①物件の購入等に係るもの」の3億45百万円は、千年金鉢地区で新潟県住宅供給公社が建設している町営住宅の平成14年度から始まる償還金です。

「どうして今、合併なのか？」を町民の皆さんと考えているため、「広報まつだい」8月号では少子高齢化の進行予測や悪化する財政の状況等についてお知らせしました。今回は、通勤・通学や買い物等、拡大する日常生活圏の状況についてお伝えします。



広がる日常生活圏

交通・情報通信手段の発達や経済活動の活発化に伴って、通勤・通学・通院やレジャー・買い物など、住民の日常の行動範囲は、現在の行政区域を越えて、ますます拡大しています。これに対し、住民が税を負担する区域は変わっていません。言い換えれば、行

わたしたちの町だから
知って・学んで・考えて…市町村合併

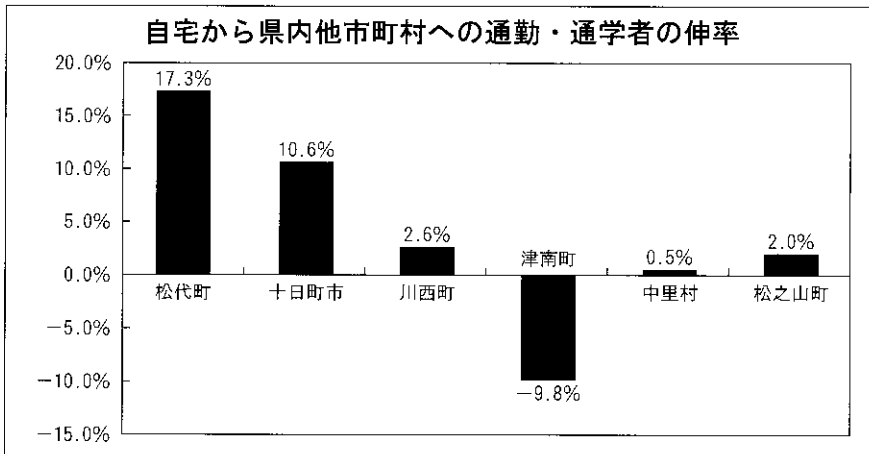
十日町圏域を知ろう！②

政サービスを受ける区域と税負担をする区域が必ずしも一致しないできているのです。

したがって、これをより実際に近づけ、広域的な観点から効率的で魅力的なまちづくりを行うために、現在の行政区域にとらわれることなく、時代の要請に応じてこの区域を見直す必要性が高まってきています。

圏域市町村別通勤・通学者の状況

表1

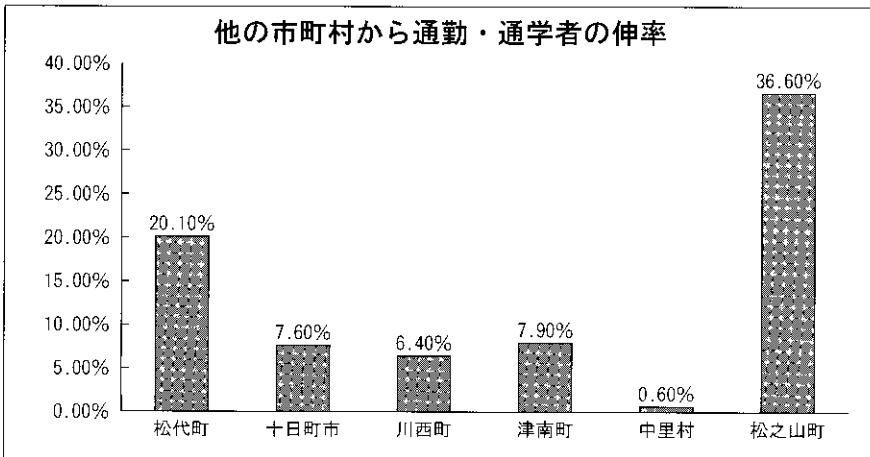


(資料：国勢調査)

左の表1は、平成7年と12年の国勢調査結果を使用し、それぞれの市町村からどれだけの人が他市町村へ通勤・通学しているかを調べたものです。平成7年の数値を1とした伸率で表しています。

ご覧いただいてわかるように、松代町では行政区域を越えて他の市町村へ通勤・通学している人が、他の圏域市町村と比べて特に増加しています。

表2



(資料：国勢調査)

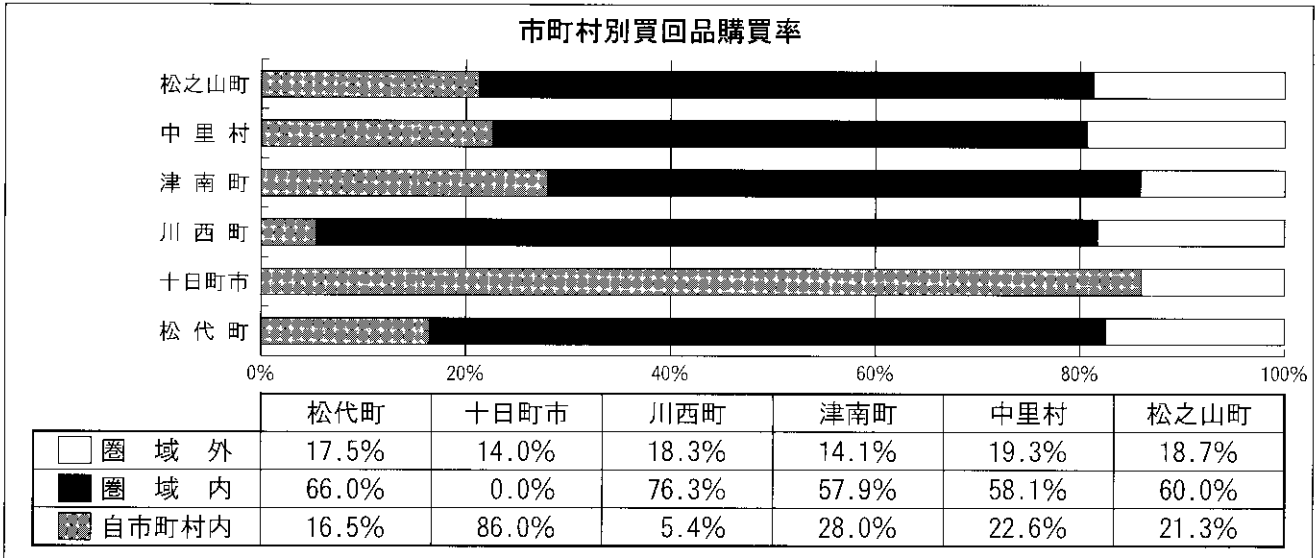
表2は、他の市町村からどれだけの人がそれぞれの市町村へ通勤・通学してきているかを表しています。

同じように、平成7年の数値を1とした伸率で示しています。圏域の市町村では、他の市町村から行政の区域を越えて通勤・通学してきている人も増加しています。

特に松代町、松之山町で伸率が高く、生活圏域が拡大していることがうかがえます。

圏域市町村の消費者動向

表 3



(資料：新潟県広域商圏動向調査)

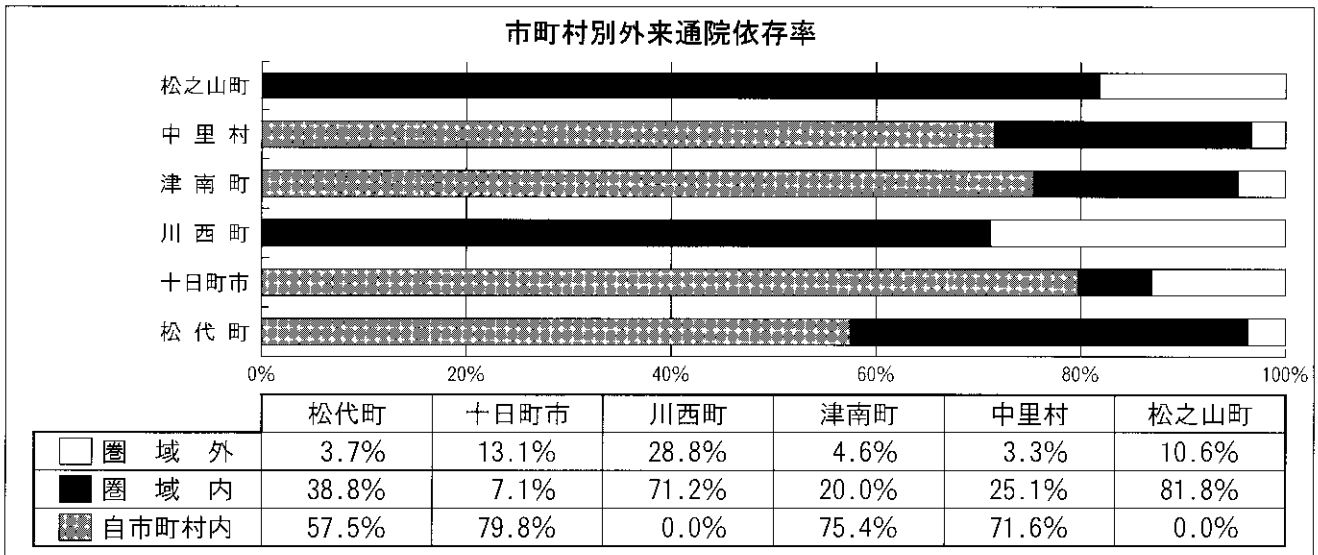
※買回品とは、「呉服・寝具、高級衣料、服飾品・アクセサリ、靴・カバン、時計・メガネ・カメラ、家庭電器製品、家具・インテリア、文具・書籍、レジャー・スポーツ用品、おもちゃ・楽器・コンパクトディスク、贈答品」です。

表3は、買回品購買率を示し、どこの地域で一番買い物をするかを調査したものです。

十日町市を除く各町村とも自町村よりも外へと消費者の行動範囲が拡大していることがわかります。中でも圏域内、主に十日町市へは大型店舗を有する地域でも有ることから、購買率がほぼ60%以上とすべての町村で高い数値となっています。

圏域市町村別通院状況

表 4



(資料：県保健医療需要調査)

表4は、自市町村以外の市町村に通院している人数の割合を示したものです。

自分の市町村内に病院のない町村では、圏域内の他市町村に通院している割合が非常に高く、また、自市町村内に病院を有している町村であっても、圏域内へは、2～4割の人が通院をしている状況となっています。

市町村合併シリーズ 次回は、各種の行政サービスについてお伝えします。

自然エネルギーで

町の活性化を

限りのある資源だから…

経済社会の発展とともに、それを支える電力やガスなど総エネルギー需要は、今後もさらに増加することが予想されています。現在、日本の産業経済や私たちの生活を維持するために必要なエネルギー量は、石油換

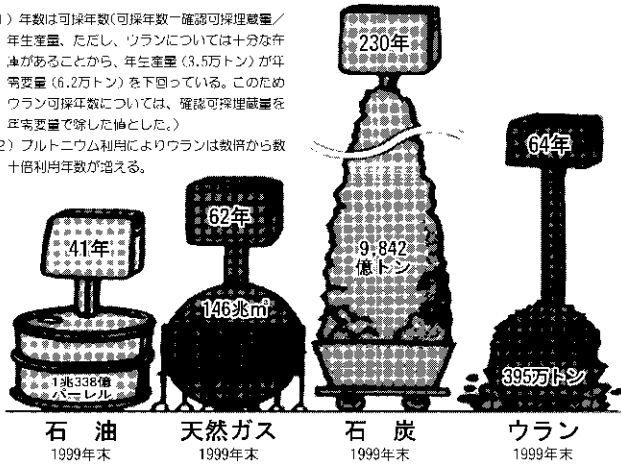
算で、一人あたり年間ドラム缶16本程度で世界平均の約3倍といわれています。

しかし、日本はこのエネルギーの資源となる石油や石炭・ウランなどの供給をほぼ百パーセント輸入に頼っています。1970年代の二度のオイルショックを契機に、石油の備蓄や省エネ

世界のエネルギー資源確認埋蔵量

(注・1) 年数は可採年数(可採年数＝確認埋蔵量／年産産量、ただし、ウランについては十分な年産があることから、年産産量(3.5万トン)が年産需要量(6.2万トン)を下回っている。このためウラン可採年数については、確認埋蔵量を年産需要量で算した値とした。)

(注・2) フルトニウム利用によりウランは数倍から数十倍の採年数が増える。



出典：総合エネルギー統計(平成12年度版)

(イラストは、(財)日本原子力文化振興財団HPより)

ルギー対策の推進、また原子力や液化天然ガスなどのエネルギー効率のよい資源の利用などさまざまな方法で、エネルギーの安定確保に努めています。

地域の中から次世代エネルギーを



一方で、地域の身近なところから石油に代わる『石油代替エネルギー』、とりわけ自然エネルギーの供給を目指そうと開発が進められています。これは、自然界にある無限の資源を利用することで調達コストの削減や電力などの生成時に発生する二酸化炭素等から生ずる地球温暖化に伴う生態系や自然環境への悪影響にも考慮されているものです。

さて、私たちの周囲にある自然エネルギーには、どのような物があり、どう活用されているのでしょうか。

主なものをあげると、風の力を利用した風力発電、太陽光を利用した太陽光発電、太陽熱を利用した給湯や冷暖房、植物を様々な形に変えて利用するバイオマスエネルギー、雪や水の冷熱を利用した冷房及び米や農産加工品の貯蔵など地域の特性に合わせたエネルギーの導入などが全国各地で行われています。

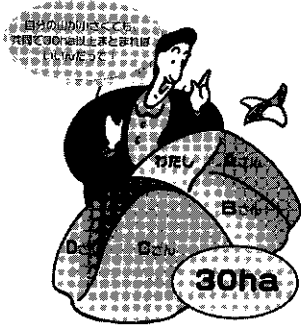
松代町でも調査を開始

そんな中で、町では地域に眠る自然界のエネルギーを今一度見直し、日常生活や地域産業に有効なエネルギーとして再発見しようという調査を今年度国の補助金を受けて実施します。

松代町では、一体どのような自然エネルギーの利用が可能でしょうか。来年二月までに報告書にまとめることにしています。また、新エネルギーを活用するこ



とで地域の活性化や、新たな産業の導入に結び付けたいと考えておりますので、家庭や地域産業の中で利用可能な新エネルギーの活用方法についてのアイデアや、具体的な活用事例がありましたら今後の参考とさせていただきますので町企画振興課までお知らせください。また、国や県では新エネルギーの導入に当たって様々な支援を行っています。導入に関してのお問い合わせは企画振興課までお願いします。(TEL 7-2220)



手入れをせずに山を放っておくと、山の価値が下がるだけでなく、大気の浄化作用や水源のかん養性・災害の防止など森林のもつ大切な働きも十分に発揮できなくなります。

そこで、国・県・町では、団地認定後から平成18年まで、森林現況調査など、山の手入れを進めるために欠かせない活動を交付金によって支援します。

森林整備 地域活動支援 交付金制度の お知らせ

制度の概要

1. 支援の対象となる森林及び交付金額

①支援の対象となる森林

- 森林施業計画を作成している森林30㌦以上の団地のなかで、35年生以下の人工林(一部45年生まで)が支援の対象となります。

町が行なった造林地、緑資源公団が行った造林地及び治山事業による造林地は、交付金対象森林となりません。

②交付金額は

- 対象となる森林1㌦あたり1万円。

森林施業計画とは……

森林づくりのために、具体的な下刈り・除伐・間伐等の実施について森林の所有者などが作成する5年間の作業計画で、町長が認定します。

2. 交付までの手続き

30㌦以上の団地の森林所有者全員と町長との間に、森林づくりに関する協定を締結します。その後、団地の森林所有者が、次の森林整備地域活動を行い、町が確認してから交付されます。

森林整備地域活動の内容

- ①～③までのいずれかを毎年実施
 - ①林木の生育調査、雑草木の繁茂調査、公道からの作業道や歩道の状況などの調査
 - ②所有者境界の確認、簡易杭設置、境界測量等の区域明確作業
 - ③対象森林までの歩道や作業道の刈払い、補修、新設
- ④その他、調査結果の取りまとめなど

詳しくは、役場農林課へお問い合わせください。(TEL 7-2220)

法務行政相談所開設

10月1日～7日までの「法の日週間」にちなみ、法務局・人権擁護委員協議会・司法書士会・土地家屋調査士会の共催で法務行政相談所が開設されます。相談内容等は下記のとおりで、内容に応じてそれぞれの担当が無料で相談に応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日時：10月7日(月) 10時～15時

会場：松之山町自然休養村管理センター

相談の内容：①土地・家屋の売買、相続・抵当権設定・土地の分筆・合筆、地目変更、建物の新築・増築・滅失などの不動産登記および土地の境界など

②会社の設立、役員変更などの会社・法人登記

③結婚・離婚・養子縁組や国籍取得

④地代、家賃などの供託

⑤家庭内、親族間、近隣間のもめごと・いじめ・不登校・体罰・不当な差別、虐待などの人権問題

⑦多重債務 など

一人で悩まずご相談ください
無料相談所が開設されます

問い合わせ：役場住民課戸籍係

社会保険よろず相談所開設

健康保険、厚生年金保険、国民年金など社会保険に関する各種相談に応じる「よろず相談所」が開設されます。相談には上越社会保険事務所の職員が無料でお受けします。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日時：10月10日(木)

10時～15時

会場：松代町総合センター

大地の芸術祭協賛イベント募集中

活動経費の一部を支援!

(十日町地域広域事務組合)

大地の芸術祭・花の道実
行委員会では、芸術祭に關
する情報を広く周知でき、
芸術祭期間中(平成15年7
月20日~9月7日の50日間)
に誘客を高めることができ
る地域イベントとの連携を

考えています。
お互いの長所を利用しな
がら、広報、誘客の面で効
果が期待できるような地域
イベントにその経費の一部
を支援します。

大地の芸術祭協賛イベント支援事業の概要

1. 募集期間(2回に分けて募集します。)

前期 現在募集中(締め切り平成14年11月20日)

後期 平成15年1月上旬から4月20日(予定)

2. 対象イベント

第2回大地の芸術祭期間中及びその前後に行われる既存の
まつり、自主イベント等で、大地の芸術祭と連動して誘客を
図り、芸術祭を広くPRが期待できるもの。

3. 大地の芸術祭協賛イベント支援事業の補助金

①補助率: 補助対象経費から市町村等からの補助金を差し引
いた額の60%(見学者、参加者等から徴収する収入がある
場合は40%を乗じた額)。
※申請件数多数の場合は、予算の範囲内で調整します。

②補助限度額: 上限50万円。下限5万円。

③対象外経費: 備品購入費、食糧費(但し、イベント等で提
供する郷土料理の食材といった原材料費等は除く)、団体構
成員の人件費などが対象外です。

4. 申請手続きおよび問い合わせ先

申請する場合は、所定の用紙に事業計画などを記入し、11
月20日までに松代町役場企画振興課(TEL 7-2220)へお
申し込みください。

連載

「かまぼこ型倉庫再発見」

(美術家・小沢剛)

かまぼこ型倉庫は、完璧な形だ。いつさいの無
駄がなく、誰にも媚びてはいない。だから美しい。

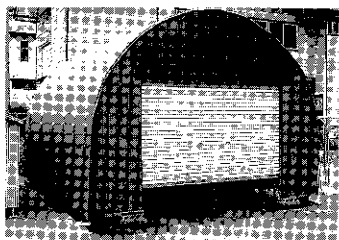
松代町を訪れたのは、雪が
積もり始めた昨年の12月頃だ。
温泉に向かうタクシーの窓か
ら見える木々や住宅や田や山々
は、雪衣によって、すべての
形は優しく緩やかで清々しかつ
た。やがて見慣れぬ形のもの
が至る所に見えることに気が
つき、気になってきた。いや、
かなり気になった。うまくは
言えないのだが、未知のモノ
を見たときに感じる違和感と、
新鮮な好奇心が同時に沸いた
のだ。それが、かまぼこ型倉
庫と初めての出会いであった。
美術家業をやっていると、
たまに説明の出来ない直感が
現れるが、まさに説明不能な
ものに確信めいたものを感じた
わけだ。

それから3カ月後、韓国の
光州で建築家の塚本由晴氏と
焼き肉を食べていた。彼は1
回目の大地の芸術祭に参加し
ており、話題はいつしか、か
まぼこ型倉庫になった。やは

今月のかまぼこ君!

「駅通り地区」

あれ、倉庫にキャスター
(くるま)がついているぞ。
いったいなぜ? こ
の持ち主の柳武さ
んに聞いてみまし
た。「これは20年ほ
ど前に道路の向か
いにあった会社が
創った物ですが、
10年ほど前に譲り
受けたのですよ。
その時に移動させるために、
このようにくるまを付けた
わけですね」今は車庫とし



て使っています。廃品回
收の収集所として使われた
こともあったとのこと。な
るほど、1回目か
ら万能ぶりを発揮
したかまぼこ君に
出会えました。移
動している姿を見
てみたかったです。
このコーナでは
変わったかまぼこ
型倉庫を紹介しま
す。あなたの近所に面白い
物があれば、広報係までお
知らせください。

を必要としない合理的な屋根
型であることにも触れた。雪
とかまぼこ型倉庫とトンネル
が一つの線でつながることが
見えてきた。僕はますますあ
のかまぼこ型倉庫のことを知
りたくなかった。
更に3カ月後、僕は再びほ
くほく線に乗っていた。松代
は緑に包まれていた。
〈小沢 剛〉
主にコミュニケーションや生
活の身近な物をテーマに、絵画、
立体、写真、ビデオなど、様々
な作品を世界各地で発表。現在
ニューヨーク在住。

ゲートボール

◆松代郵便局親善ゲートボール大会
(8月3日/町民グラウンド)

- 優勝 蒲生Aチーム
- 2位 蒲生Bチーム
- 3位 犬伏チーム
- 敢闘賞 小荒戸チーム

◆松代町教育長杯争奪ゲートボール大会
(8月30日/町民グラウンド)

- 優勝 室野Cチーム
- 2位 蓬平チーム
- 3位 菅刈Bチーム
- 敢闘賞 蒲生Aチーム

ふれあいスポーツの日

(8月4日/総合体育館・町民グラウンド)

●スマイルボウリングの部

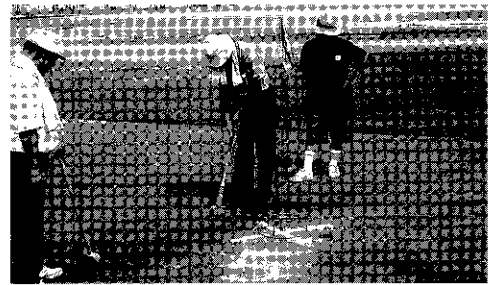
- 優勝 千年Aチーム
- 2位 千年Bチーム
- 3位 スカイラク (峠)

●ペタンクの部

- 優勝 千年Bチーム
- 2位 太平友の会
- 3位 千年Aチーム

●グラウンドゴルフの部

- 優勝 中村 守さん
- 2位 鈴木 明雄さん
- 3位 山岸 敏行さん



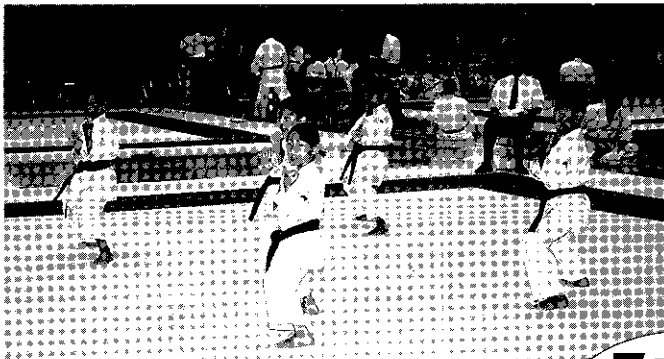
空手

◆第22回新潟県スポーツ少年団総合体育大会

バドミントン

(8月18日/燕市民体育館)

- 【小学生】 ●低学年女子形 優勝 松澤佳奈さん
- 高学年男子形 4位 相沢祐樹さん
- 【中学生】 ●団体形4位松代チーム (市川美樹さん、柳鮎美さん、高澤沙織さん、相沢健太さん、市川大地さん)



(8月25日/岩室村民体育館)

- 小学生女子団体戦
- 3位 まつだいYJ (関谷水希さん、中村江美香さん、小嶋華奈子さん、柳瑞穂さん、武田千尋さん)



スポーツ教室から

バスケット

走ろう会

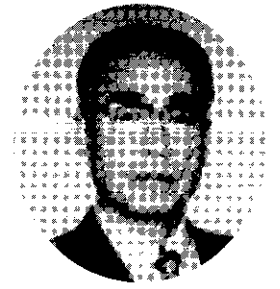
8月18日十日町市総合体育館で行われた十日町地区近隣市町村合同大会に参加し、この日一日で六試合を行いました。



バスケット協会会長の室岡裕之さんは「実践を多く経験することで、チームワークを養ってほしいです」と今後の活躍に期待をしていました。

走ろう会は、8月24日夏の強化練習と親睦を兼ねた催しとして、吉川町の尾神岳(標高757m)登山を行いました。参加した走ろう会のメンバーは、日頃練習で鍛えた脚力を生かして頂上に登り、風光明媚な景色を楽しみました。





紙風船

小野島 營

八王子市在住
(会沢・向)

春休み。高田の親戚から高三になる長男が遊びにきた。夕食後のひと時、私は会沢の山で起きた風船の話をした。

私が就学前の昭和十七年夏と記憶する。五十嵐伊勢松(いせまつ)少年が息咳切つて家に来た。「お父つあはいるかえ。いま、塚ら本の上に化けもんが飛んでいる。撃ち落してくんねかえ」。塚ら本は芝峠温泉から僅かに会沢寄りの山だ。父は鉄砲打ちであった。

塚ら本の上空には薄茶色の丸いおぼんのようなものが浮いていた。おぼんはだんだん近づいてきて、土俵くらいになった時、塚ら本の裏に姿を消した。

村はパニックになった。男たちは塚ら本の裏の臭水(くそうず)の出る山に入った。私が村外れの福の屋の家まで行った時、一五、六人の男たちが、まるで蛇踊りの白蛇を脇に抱えるような格好で臭水の山から上がってきた。

「白蛇」は大槓屋の庭に持ち込まれた。それは直径十メートル程の巨大な紙の風船であった。

風船は臭水の弥助の田んぼに降りたと言う。近くに弥助の五十嵐仲蔵、カツ、ウメノ、シサエさんがいた。

シサエさんは村へ走り、カツ、ウメノさんの二人は畦道に寝転ぶようにして風船を捕らえた。風船は仲蔵さんたちが村へ運ぶ途中、木に絡まり破れてしまった。

人垣ができた。風船には五個の砂

袋と通信機らしい機械がついている。が、一体何物なのか見当がつかない。そこへ、帰省中の兵隊、小野島彦太郎さんが来た。
「これは軍隊の物だ。軽気球と言う。しかし、使用目的は分からない」。村の人たちは「ケイキキウ、ケイキキウ」と囁き合った。
風船には葉書がついていた。「風船を拾った者は地名と日時を記入して、至急軍隊に報告せよ」などと書かれていたようである。
この風船が風船爆弾の実験と分かったのは、戦後も数年過ぎてからである。風船はコンニャク芋の産地である群馬県等で、軍や女子挺身隊員により極秘に作られたものであった。和紙にコンニャク芋の糊を塗り、つなぎ合わせて作られた。
十九年秋より、風船に水素を詰めて一五kgの爆弾と五kgの焼夷弾二個を吊るし、強い偏西風を利用して勿来(なごそ)の海岸などから米国に向けて放たれた。その数約一万个。

東京だより

「東京松代会」会員ご紹介先

地区	代表者名	電話
松代	笠原 清	03-3692-3564
峰方	萬羽三蔵	03-3900-8547
伊沢	山岸弘政	045-934 9584
山平	井上正美	044 877 9611
奴奈川	石野 士	048-832-7288

募集用のパンフレットを用意しておりますので、ご利用ください。

会員募集のお願い!
会員の皆様、東京松代会の会員をご紹介ください。
お友達や兄弟姉妹、クラスメイト等々、東京松代会への入会をおすすめくださいますようお願いいたします。

二日から三日後にタイマーが働き、爆弾を投下する仕組みであった。米国へは約数千個がたどり着いたという。死亡者や火災が発生したが、米政府の報道管制により被害の詳細は不明である。
この話に高校生君は目を輝かせた。「紙風船、偏西風、太平洋横断。素晴らしい。叔父さん、その話にはロマンがある」。
彼よりも若い娘たちの作った紙風船が、爆弾を抱えて時速二百キロで海を越えたことは事実である。
でも、私は忌むべき戦争の話にロマンなど抱かないでほしかった。

ミヤマウズラ

8月19日の夜、千年の「三枚出」の佐藤武則さんからお電話がありました。論所（ろんしよ）という地名の山で仕事をしていたら珍しい花を見つけたので、明日の朝、浦田に仕事に行くついでに持参するから見てくれ、ということでした。

明くる20日の早朝6時にはもうおいでになられ、提示された植物の淡紅色をした花を穂のようにつけた三株を見ると、私にとってはおなじみのラン科の多年草であるミヤマウズラというものでした。深山に生える、鶉（うずら）の羽の紋様に似た葉の模様からのものですが、深山でなくても里山でも杉林の中でも稀に見られます。これに似たアケボノシユスラン



（曙縹子蘭）というものも杉林の中でじゅうたんを敷き詰めたように生えている場所もあり、曙色（薄桃色）の美しい花をつけます。

このようなランの仲間にはカキラン・キンラン・ギンラン・クモキリンソウ・コケイラン・サイハイラン・ナツエビネ・シユンラン・トンボソウ・ノビネチドリなどがこの辺にもあるのですが、その数は極めて少ないので採集はご遠慮された方がよいでしょう。

その他にも葉のないムヨウランの仲間にもオノヤガラ（鬼の矢柄）とかツチアケビ（土木通）にシヨウキラン（鍾馭蘭）などの変わり者もあつて多士済々です。

それにしても、佐藤武則さんの嬰鑠（かくしやく）たる元氣さには驚きます。私の亡き二人上の兄と同級生だったというから、八十歳を超えられたでしょうが、まだ

バイクにまたがり、材木業者の手伝いをされているのですから、たいしたものです。その元氣の根源はママシ焼酎をたしなむからとか、これは内緒かな？

とにかく今後もご壮健で活躍を祈ります。

（文とカット 高橋八十八）

八王子から

7月19日から22日までの4日間、交流活動の一環として、八王子市子どもたちが「自然体験教室」に訪れ、地元の菅刈・田沢の子どもたちと交流を深めました。その時の思い出を記したお手紙をいただいたので紹介します。（紙面の都合から一部省略してあります。）

天野紗央里さん

私はこの夏初めての体験をしました。朝の散歩でヘビを見たのには飛び上がりました。また、ねながら花火を見た時は、キレイさ倍増？ 私は来年もいくつもりです。あ～楽しかった。

小坂 溪さん

新潟県の松代で、お兄さんやお姉さんと一緒にジャガイモ掘りやホタル狩りをしました。

ミヤマクワガタも捕まえました。今でも元気に生きてます。緊張して初日からあまり眠れなかったけど、楽しかったです。



自然体験教室に参加した八王子市および菅刈・田沢のみなさん(旧菅刈分校校庭)

中野 菜美さん

私は、一番心に残っていることは、海で遊んだことです。一つ恐かったことがありました。学校に泊まるなんて、思ったこともありませんでした。それも廃校になった所で、怖くてちょっと困った。二番目に楽しかった事は、友達ができて、いっしょに話したり遊んだことです。この夏は海も行ったけど、それより自然体験教室のほうが楽しかったです。

志村 将士さん

今年も、松代へ行くのが楽しみ

だった。なによりも、海とクワガタがたのしみだった。ねるばしよが、松代城だから、クワガタに期待した。朝起きて、大塚君も起こしてクワガタを見にいったら、ぼくはガクゼンとした。なぜなら、クワガタの死体が、大量におっこちていたからだ。その辺には、カラスの羽が落ちていた。そしてとうとう次の日は帰りの日だった。今年も楽しかった。

このほか、板垣美沙さん、佐藤麻生さん、大塚翔さんからもいただきました。

宿題の参考になったかな
早稲田大学
ユニラブ
 8月1日～2日

松代町三小学校の5年生児童43人が早稲田大学理工学部において科学実験講座を体験しました。児童は、大学が開催する26講座の中から、コンピューター・工作技術や化学実験などそれぞれ希望する11項目の実験講座に分かれて、講師や大学生から指導を受けました。



早稲田大学構内を見学



吹奏楽の指導を受ける松代中学のみなさん

第9回松代ミュージック
キャンプ
 8月13日～15日

中学生から一般者まで県内外から63人の受講生が集まり、須川展也さんをはじめ9人の講師から各楽器ごとに専門的な実技指導を受けました。また、14日には講師陣によるファイナルコンサートが催され、期間中松代町生涯学習センター(清水)は音楽の館と化していました。

みなさんの善意「ありがとう」
「愛は地球を救う」
チャリティーキャンペーン
 8月17日～18日

24時間テレビ「愛は地球を救う」のチャリティーキャンペーンに、今年もたくさんの方から募金にご協力をいただき、総額149,275円が寄せられました。また、キャンペーンが行われたふるさと会館前では、松代高校家庭クラブの皆さん11人がボランティアで、デイサービスセンターの職員と共に、募金の呼びかけにご協力をしてくださいました。



ボランティア協力する松代高校家庭クラブのみなさん

「緑の中のびのび」

東京・葛飾区がらソフボールの交流試合



交流試合をとおして、笠原さんは「都会の限られたスペースの中でプレーをする子供たちに、松代の緑の中で、松代の子供たちとともにのびのびとプレーをさせたかった」とキャンプのきっかけを話していました。

8月24日、25日の2日間、葛飾区奥戸の小学生女子「奥戸青空ソフトボールチーム」が松代町にキャンプに訪れ、松代少年野球チームとソフトボールの交流試合で楽しみました。

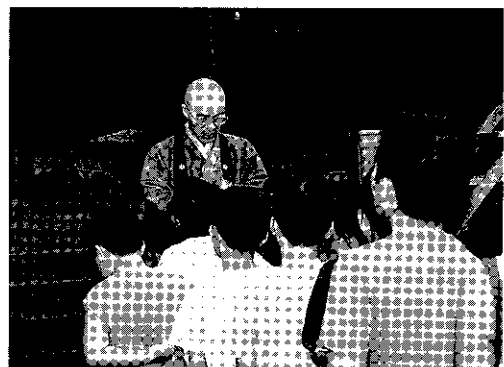
また、24日夜には交流会が行われ、奥戸青空チームと松代チームの選手並びに父兄およびチーム関係者が懇親を深めました。

この日松代町に訪れたのは、チームメンバー20人と引率のチーム役員および家族の合わせて39人で、昨年続き二度目となります。

このキャンプを企画した、前チーム監督の笠原清さん（葛飾区在住）は松代町出身で、現在東京松代会の副会長を務めています。



「来年も来るよ」と握手をする笠原清さんと松代チームの関谷海門キャプテン



ねむい口をこすりながら、木陰のひんやりとした階段を子供たちは上ってくる。

10分程のラジオ体操で目を覚ましたあと、誰が声をかけるともなく子供たちは本堂の前に並ぶ。

夏休みのお盆前まで、室野洞泉寺で地域の子供たちは朝の修行を兼ねた学習をする。

礼をして本堂に入り、足を組み、背筋を伸ばして手の平を重ねて組んで、しばしの沈黙。住職の歩く足が、時折畳を擦る音だけが微かに聞こえる。

ひととおり子供たちの姿勢を直し回った後、住職は言います「坐禅は自分の修

「強くなれ」といひつと

（室野洞泉寺 石黒良泉さん）

行です。皆がここにいるけど、自分ひとりの修行です。15分で坐禅を解く。子供たちは一斉に「ウー、イタタタ」と足を擦る。

「坐禅中何か考えていた？」と一人に聞いた。すると「うん、何も考えないよ。『空』初日に住職から心得が言い伝えてあるという。

「何のために坐禅をするの？」とよく子供たちに聞かれるという。「自分を強くするためだよ」「そのためには自分が見えなくてほだめだよ」今はまだ分からなくても、このことが人生のうちで必ず支えになるところがあるだろう。

人権擁護委員を務める石黒良泉さんは子供たちに「強くなりなさい」と説く。

子供たちは「えーケンカが」というと石黒さんは「ちがうよ」と優しく答える。不安、孤独、イジメ：そんな境遇に迫られたとき、そ

れらを跳ね返す力。つまり相手は自分なのだ。

そのあと、全員で般若心経を読み、30分程度の自主学習をして終わる。

この学習は、奴奈川小学校が建替えのとき、境内でラジオ体操をすることになったのがきっかけで始めたことですので、かれこれ20年くらいになります。

夏休み。子供たちは一つ大切なことを学びました。



短歌

遠山に夕立来らしさやさや
と涼風一陣西より来たる
本山 祖道
目落としの胡瓜よ哀れすり
こぎのごとく太きを畑に放
置す 柳 こめ
子供らの植えし棚田の御下
賜苗穂の出揃いて川風渡る
笠原 トミ
吾子でさえセミなど追わぬ
としなののに声聞近にし息止
めさがす 市川 辰雄
青葙のそよぐともなし油蟬
じんじんと鳴き地の乾きゆ
く 野石 念

蒲生句会

逃げ回る襦子捕えどころな
し 耕山
おん寺の鐘に和しおり法師
蟬 朴雪
芋の葉の露にやさしく触る
る風 月日
逆さまに蜂が水呑む暑さか
な 鐵堂
ハモニカを吹くようにして
黍を食う 耕人
七人分お椀並べて盆昼餉
かりかりと齒に滲みわたる
かき水 山路
孫もはや青年の顔夏休み
くわしまめを挽ぐ腕白の顔
となり 龍峰

しづみ俳句会

早朝のラジオ体操夏休み
八千代
梅雨明けを待つて大寺屋根
普請 六花
炎天に葉の裏見せて耐ゆる
かな 紅茶
辰之の童謡歌ふ夏館
とし子
落人の二十五代目夏館
淡水
緑蔭に人見知りする孫を抱
枯水
向日葵が咲き出し孫の来る
公鳴

平成14年度調停相談会の開催

民事や家事の紛争について、その解決手段の一つである調停制度の利用に関する調停相談会を、下記のとおり開催します。なお、相談は無料で、秘密は厳守されますので、お気軽にご利用ください

日時：10月1日(火) 10時～15時
会場：上越市「雁木通りプラザ」
上越市木町3丁目2番26号
相談の内容：土地・建物、金銭貸借、商品取引、交通事故、相続、遺言、夫婦・親子関係など
相談担当者：新潟地方裁判所民事調停委員
新潟家庭裁判所家事調停委員
主催：日本調停協会連合会、新潟県調停協会連合会、高田地区調停協会

妻有福祉会職員募集のお知らせ

平成15年4月1日付採用の職員を募集します。
職種・人員：事務職員 1人
受験資格：①高校卒業以上で昭和42年4月2日以降に生まれの、簿記検定1級か2級を有する者。
②自動車運転普通免許を有し、広域六市町村在住で通勤可能な者
勤務場所：社会福祉法人妻有福祉会の老人福祉施設
採用試験日：11月17日(日)
申込み締切：10月31日(木)まで
申込先・問い合わせ先：
養護老人ホーム妻有荘
〒949-8525 十日町市幸町
TEL 0257-58-2050

ひとり親家庭のみなさんへ ～医療費助成制度～

県では、ひとり親家庭の方が、医療機関で支払う医療費の一部を助成しています。
対象：母子家庭、父子家庭または父母のいない家庭で、18歳未満の子ども及びその子どもを養育してる方
※父母が一定程度の重い障害を持っている世帯の子どもも対象になります。
詳しくは、松代町役場住民課または県児童家庭課(TEL025-280-5216)まで

人口の動き

男	2,082人	(+1人)
女	2,200人	(-4人)
計	4,282人	(-3人)
世帯数	1,488世帯	(-1世帯)
出生	1人	死亡 5人
転入	6人	転出 5人
(14年8月末現在)		

戸籍の窓口

(8月1日～8月31日)

元気な良い子に(出生)

谷内 寛人(みろと)・卓生・未希(みづき) (下町住宅A棟)

ご冥福を祈ります(死亡)

高橋マサノ(あさひ) 82歳
山岸 ウタタ(あさひ) 87歳
柳 ミツエ(あさひ) 79歳
丸山 ナイ(あさひ) 90歳
若月 キヨ(あさひ) 89歳
(海老・とぎしき)

町の行事予定 (9・10月)

お知らせ

9/21(土)	室野保育園運動会 2002地球環境米米フォーラムin越後妻有「稲刈りフェスティバル」ミオン中里前田園 13:30～(22日まで)
22(日)	
23(月)	秋分の日
24(火)	
25(水)	越後田舎体験 昭島市立多摩辺中学来町(27日まで)
26(木)	中学校郡駅伝競走大会 松寿大学ビデオ上映会
27(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
28(土)	
29(日)	町民登山「浅草岳登山。集合:役場6:50
30(月)	御下賜稲刈刈 松代駅裏 13:00～
10/1(火)	中学校郡科学研究発表会 三種混合予防接種 総合センター 13:30～ 特設人権相談所開設 総合センター 10:00～
2(水)	
3(木)	すくすく教室 松代保育園 9:00～
4(金)	
5(土)	第12回24時間耐久リレーマラソン大会12:00開始
6(日)	ほくほくの里 バスハイク
7(月)	法務行政相談所開設 松之山町自然休養村センター 10:00～15:00
8(火)	ポリオ予防接種 総合センター 13:30～ 乳児検診 総合センター 13:30～ 寒露
9(水)	中学校郡新人球技大会
10(木)	中学校郡新人球技大会 社会保険よろず相談所開設 総合センター 10:00～15:00
11(金)	幼児健診 総合センター 13:30～
12(土)	東頸城郡美術展覧会 総合体育館 9:00～18:00 (14日まで) 展覧会「そらのがっこう2002」旧蒲生小学校 10:00から(27日まで)
13(日)	
14(月)	県縦断駅伝大会 越後田舎体験 神奈川県立霧が丘高校来町(16日まで) 体育の日
15(火)	
16(水)	幼児健診 総合センター 13:30～
17(木)	乳がん・子宮ガン検診 総合体育館 12:30～
18(金)	中学校地区駅伝大会
19(土)	
20(日)	

巡回無料法律相談の開催 (予約制)

新潟県弁護士会並びに財法律扶助協会による法律相談センターの活動の一環として、弁護士による巡回無料法律相談が実施されます。相談は1人30分程度の予約制となっていますのでご希望の方はお申込みください。

日 時：10月29日(火) 9時～12時

場 所：ふるさと会館 3階 応接室

予約申込み・問い合わせ先：松代町役場総務課 (TEL 7-2220)

ふるさと写真集

《写真で見る松代町の100年》(仮題)を ご予約された皆様へ

ふるさと写真集(仮題)の発刊にあたり、昨年より多くの方からご予約をいただきありがとうございます。

現在、写真集の制作にあたり、幅広く写真等の収集を呼びかけ、取りまとめを行っているところです。ご予約された皆様にはお待たせして大変恐縮ですが、12月末には発刊の予定ですので、今しばらくお待ちくださるようお願いいたします。

入場無料

展覧会「そらのがっこう 2002」

画家よしだ・ゆうさんの作品展が開催されます

松代に越して2年目となりますが、今回2回目の作品の発表を致します。小学校の2階を借りて絵だけではなく布の作品も発表しようと思います。

テーマは「青空」です。たくさんの皆様のお越しをお待ちしてます!

開催日時：10月12日(土)～27日(日) 10時～17時*月曜休

開催会場：旧蒲生小学校校舎(松代町蒲生 早大セミナーハウス隣)

「そらのがっこう 2002」展ホームページアドレス

<http://www1.ocn.ne.jp/~sora2002/>

後援：松代町教育委員会

編集後記

今月号は、町のバランスシートを取り上げました。この表は過去に町が取得してきた、借入れも含めた財産を数的に積み上げたものです。町の予算書は単年度のお金の出入を表すもので、総体的に町の体質を見るには、この表は分かりやすいといえます。今、あらゆる公共事業において、費用対効果を重要視するようになってきました。もちろん、行政は金額的利潤を追求するものではありませんが、顧客のニーズを充足するものでなくてはなりません。行政の顧客、それは地域であり住民のみなさんです。

松寿大学創立十五周年 記念作品展



松寿大学創立十五周年記念 作品展に寄せて

作品展示会場で「あじさいは散ることをしない。雨の日でも咲き続ける。咲き続ける心をそのままにして枯れていく……」という流暢な筆使いの色紙を目にしたとき、先日読んだ「創る楽しみを持つ高齢者ほど心身ともに健康で美しい」という新聞記事を思い出しました。そして作品一点一点を見ることがあの新聞記事が脳裏に見え隠れする松寿大学創立十五周年記念作品展でした。

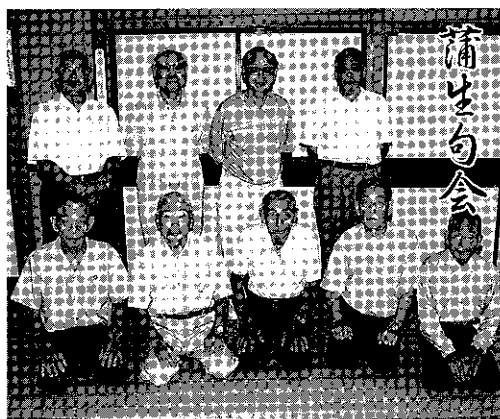
松寿大学での専門講座は、技りよりの上達に加えて作品の創作を通してながら、生きる楽しみや喜び、生きる力を培うことをねらいとしています。今の高齢社会にはこの健康的な生きる力が不可欠な要素の一つだと思います。

8月14日から16日までの3日間、ふるさと会館において松寿大学創立十五周年記念作品展が開催され、期間中約700人が鑑賞に訪れました。出品作品は150点におよび、松寿大学の学生のみなさんが普段の専門講座において作成した、書道、墨絵、樹脂粘土、俳句、ちぎり絵などで、各々技巧をこらした個性ある作品が展示されました。

それにしても松寿大学が、行政や地域の皆様に支えられての十五年であつたことに思いを致すとき、感謝の他ありません。私たちは十五周年を新たな節目として、今後共仲良く・楽しく・生き生きと、新たな夢を創り出すあじさいになりたいと思えます。また、お盆の最中しかも猛暑の折、連日多くの皆様にご来場いただきましたことは、大きな励みになり深甚の感謝を申し上げます。

(松寿大学 美濃和 英)

おじまします



「私たちの泥臭い境涯を素直に五・七・五の定型に表現することに徹していきましよう」蒲生句会が発足した昭和53年5月発行の蒲生句会の会報第1号に記された言葉です。蒲生句会（代表小堺金松さん）のメンバーは現在9人。月に一度の句会に町内外から集まります。昭和53年、出稼ぎ先で句を詠む楽しさに触れた小堺さんが出稼ぎから帰り、集落で当時しづみ句会（室野）に属していた津幡龍峰さんに「おらムラでも句会を作ろうねかい」と話を持ちかけたのがきっかけで、山平地区内で有志を集い、蒲生句会がスタートしました。当時は出稼ぎ者も多く、冬場は句会の開催ができませんでした。

しかし、遠く無雪の地で働く家主たちには、家族のことやムラのこととが片時も心から離れず、心配する気持ち自然に言葉となつて俳句にあらわれたそうです。それを毎月書き綴り、集落の会に送ることとなく、今月号の発行で276回を数えます。

「方言もどんどん使つていこうじゃないですか」会の事務局を務める津幡さんは云います。この地のものを季語に掛けてあらわすからに限られた言葉で情景を訴えることができるのではないのでしょうか。

代表の小堺さんは、「素材は常身の回りにあります。よく気に留めて見ることが新しい発見につながります」と話していました。普段の何気ない生活や見慣れた風景に息吹を吹き込む。これも俳句の楽しい一面です。

